安心・安全な鶴弥の防災瓦

快適

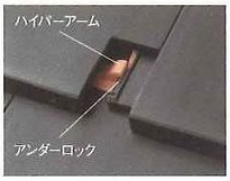
粘土瓦は高断熱材な屋根材です。
夏の熱気、冬の冷気も屋内に伝えにくいので、室内は夏は涼しく、冬は暖かく1年中快適に過ごせます。

雨音

粘土瓦は遮音性も優れた屋根材です。屋根を打つ激しい雨音も全く気になりません。

台風

下の瓦のハイパーアームが上の瓦のアンダーロックをがっちりと押さえ込み、台風時などの強風に威力を発揮する防災瓦です。
愛知県三河窯業試験場で行なった耐風圧性能試験にて「瓦屋根標準設計施工ガイドライン」にもとづいた数々の試験を行い、強さも証明されています。





長持ち

粘土瓦は自然素材である粘土と釉薬を高温(1,130℃)で焼き締めた、表面がガラス質の被膜で覆われた陶器質の屋根材です。変色や変質を起こしにくく、時間が経過しても美しい外観を保つことができ、他の屋根材のように塗装を塗り替えるなどのメンテナンスも必要ありません。高耐久で経済的な、長持ちする屋根材です。



■コストとメンテナンスのイメージ図

屋根材別／初期コスト	10年	20年	30年	トータルコスト
当社粘土瓦（フリーエアー工法） 1,000,000円 (約10,000円／㎡として)	瓦表面塗り替えの必要なし		フリーエアーロール 140,000円	約1,140,000円 (100万＋14万) フリーエアーロール葺き替え 約4,500円／m×30m／棟
化粧スレート 500,000円 (約5,000円／㎡として)	表面塗装＋足場 700,000円	表面塗装＋足場 700,000円	葺き替え 1,200,000円	約3,100,000円 (50万＋70万×2＋120万)

※化粧スレート資料：住宅産業協議会より

※専門業者による定期点検を10年に1回程度を目安として実施するようにお願いします。
※フリーエアー工法は、当社の高耐久屋根システム工法です。

地震

(財)建材試験センターに依頼し、(財)住宅基盤整備公団にて3次元震動台実験を実施。十勝沖地震、阪神大震災の地震波においても瓦のズレ、破損、脱落はなく震度7クラスの地震でも脱落しないことが証明されました。



製品に関するご注意

粘土瓦は天然原料を使った自然素材であるため、下記の要因が発生する場合がありますが、製品欠陥ではなく粘土瓦製品としての一般的性質であり、屋根材としての品質上の問題はありませんので安心してご使用ください。

■色ムラ

粘土成分の違いや、気圧など気象条件による、焼成窯内雰囲気の変化により、微妙な色ムラが発生している場合があります。



■ネジレ、寸法

焼き物特有の若干のネジレ、寸法のバラツキにより施工時に瓦と瓦の間に若干の隙間が発生する事もあります。



■ピンホール

瓦には釉薬表面にピンホールと呼ばれる小さいへこみや粘土素地の露出が発生している場合があります。釉薬の気泡や粘土に含まれる有機物(イワ木、小石等)などで燃焼時に発生するものです。(特に粘土に含まれる小石は、瓦の強度を保つために必要不可欠な素材でありますが、焼成時には陥没しピンホールの原因となります。)



■貫入(かんにゅう・表面亀裂)

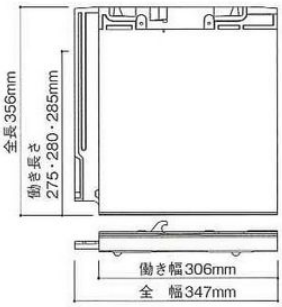
瓦には貫入(かんにゅう)と呼ばれる、釉薬表面に細かい亀裂が発生している場合があります。窯から出してすぐに発生する貫入状態を直接貫入といいます。釉薬と素地(粘土)の収縮が同じ程度に調合した色の瓦は直接貫入の発生は少なく、施工後徐々に貫入が発生します。これを経年貫入といいます。



■製品仕様

長　さ	356mm
幅	347mm
働き長さ ※屋根勾配毎に設定	(寄棟※) 4.0寸　275mm 4.5寸　280mm 5.0寸　285mm (切妻) 270～285mm
働き幅	306mm
重　量	3.6kg/枚(43.2kg/㎡)
葺き枚数	12枚/㎡(40/坪)

※本仕様は、商品改良のため、予告無く仕様を変更することがあります。あらかじめご了承ください。



■標準屋根勾配とその流れの長さ

標準屋根勾配	その流れ長さ
3.5/10	8m
4.0/10	10m
4.5/10	12m
5.0/10	15m

【注】スーパートライ110スマートを安心してお使いいただくための標準値です。
【注】袖隅瓦・谷瓦は4.0/10～5.0/10の対応となります。

安全に関するご注意

当社製品を使用される際は「瓦屋根標準設計・施工ガイドライン」に基づく施工を推奨します。
なお、粘土瓦の施工には専門の工事が必要です。専門工事業者にご相談ください。工事に不備があると、落下・雨漏り等の原因になることがあります。
(地域・ハウスメーカー毎に施工方法が異なる場合があります。)

- ●寒冷積雪地域あるいは強風地域では、特殊な工事を必要とする場合があります。こうした地域で粘土瓦を使う場合には、専門工事業者にご相談ください。
- ●粘土瓦を使った屋根は、関連する工事標準仕様書に基づいて設計してください。特殊な設計を行う場合は、専門工事業者にご相談ください。
- ●施工後、専門工事業者以外の方が屋根面に登ることは、落下等非常に危険です。また、雨漏り等の原因になることもありますので絶対に登らないでください。
- ●陶器瓦表面はガラス質であり、滑りやすいため、特に朝露・雨など表面が濡れている場合は危険ですので絶対に屋根面に登らないでください。

■三州瓦製造・販売

Tsuruya 株式会社 鶴弥
本社 〒475-8528 愛知県半田市州の崎町2番地12
0120-817-268
モバイルサイトはこちら→
ホームページ www.try110.com
営　業　部：TEL.0569-29-4999　FAX.0569-28-5566(販売・価格)
北陸支店：〒932-0136　富山県小矢部市平田3102番地
TEL.0766-69-1268　FAX.0766-69-7268
仙台営業所：〒983-0002　宮城県仙台市宮城野区蒲生字二本木138
TEL.022-254-1580　FAX.022-254-1581

鶴弥スーパートライ登録施工店
ホームページより、お近くの登録施工店を検索することができます。

■特約店

〒918-8236 福井市和田中町113-32
ムラタルーフ株式会社
TEL0776-22-5355
FAX0776-22-3932

2013年3月現在